

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第15週の発生動向

全数報告の感染症 (15週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：百日咳 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	肺結核	発熱
			70歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	無症状病原体保有者	—
		都城	60歳代	男	肺結核	発熱
			70歳代	女	無症状病原体保有者	—
5類	百日咳	都城	10歳代	女	—	持続する咳
		高鍋	5~9歳	男	—	持続する咳

《前週との比較》

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 767 人(定点当たり 23.7)で、前週比 125%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患は手足口病と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は水痘と伝染性紅斑である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

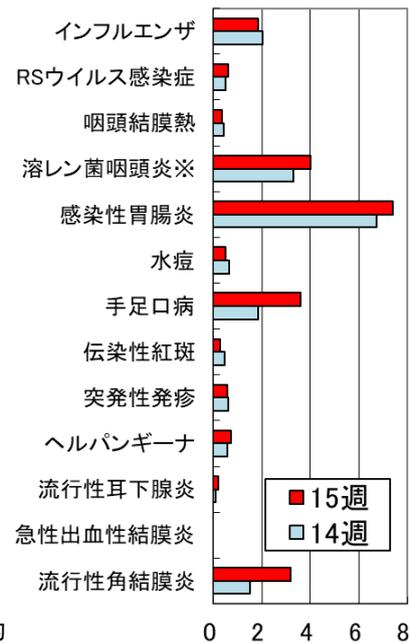
【感染性胃腸炎】

報告数は 259 人(7.4)で、前週比 110%と増加しているが、例年同時期の定点当たり平均値*(11.6)の約 0.6 倍である。日南(24.3)、小林(8.5)、都城(7.2)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~4歳が全体の約半数を占めている。

【手足口病】

報告数は 126 人(3.6)で、前週比 197%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約 2.1 倍である。都城(10.3)、延岡(6.5)、小林(4.5)保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳が全体の約6割を占めている。

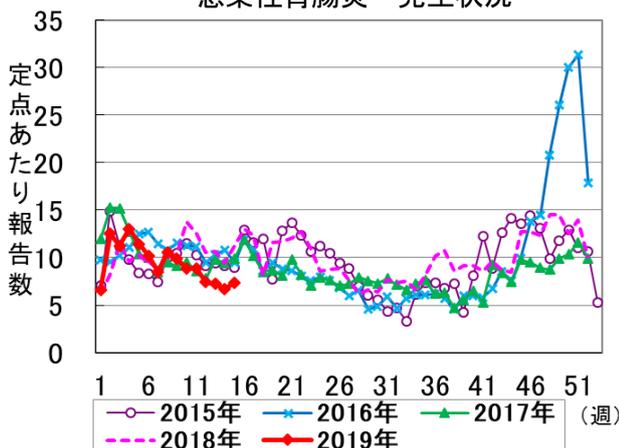
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



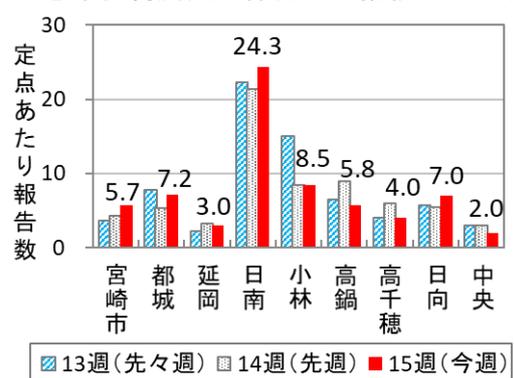
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

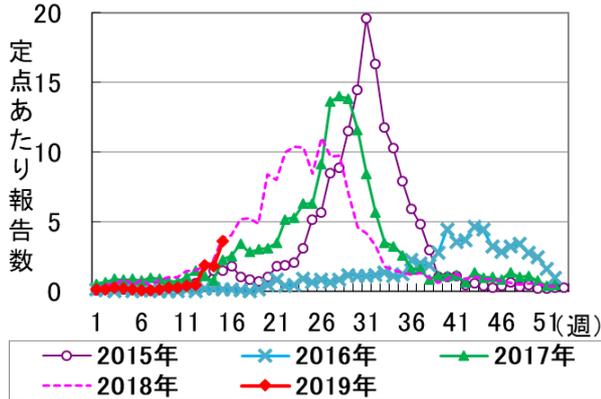
感染性胃腸炎 発生状況



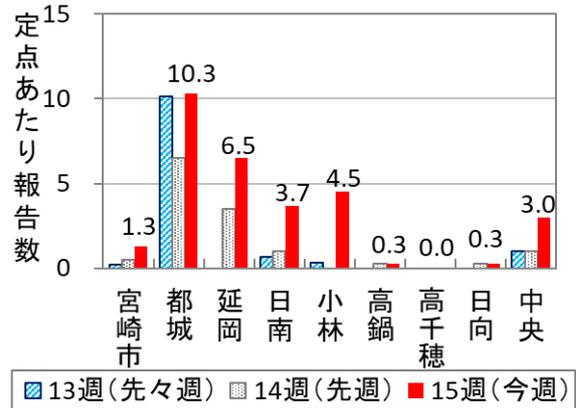
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：報告数は3例で宮崎市保健所からの報告であった。
0～4歳、50歳代、70歳代で、病原体の群別は不明である。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.2)
都城	手足口病(10.3)
延岡	手足口病(6.5)
日南	感染性胃腸炎(24.3)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(2.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(2.0)
- ・手足口病(5.0)

🇯🇵 全国 2019 年第 14 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 14 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	324 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	15 例	腸チフス	2 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	6 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	6 例	日本紅斑熱	1 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	20 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	13 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例
	急性脳炎	9 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	50 例
	水痘(入院例)	6 例	梅毒	64 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	226 例
	風しん	71 例	麻しん	10 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 98%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱である。

RSウイルス感染症の報告数は1,393人(0.44)で前週比90%と減少しているが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.24)の約1.8倍である。山口県、徳島県(各1.3)、和歌山県(1.2)からの報告が多く、年齢群別では1歳以下が全体の約7割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は1,782人(0.56)で前週比112%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.22)の約2.6倍である。石川県(1.9)、福岡県(1.0)、青森県(0.98)からの報告が多く、年齢群別では4～6歳が全体の約半数を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2019年3月>

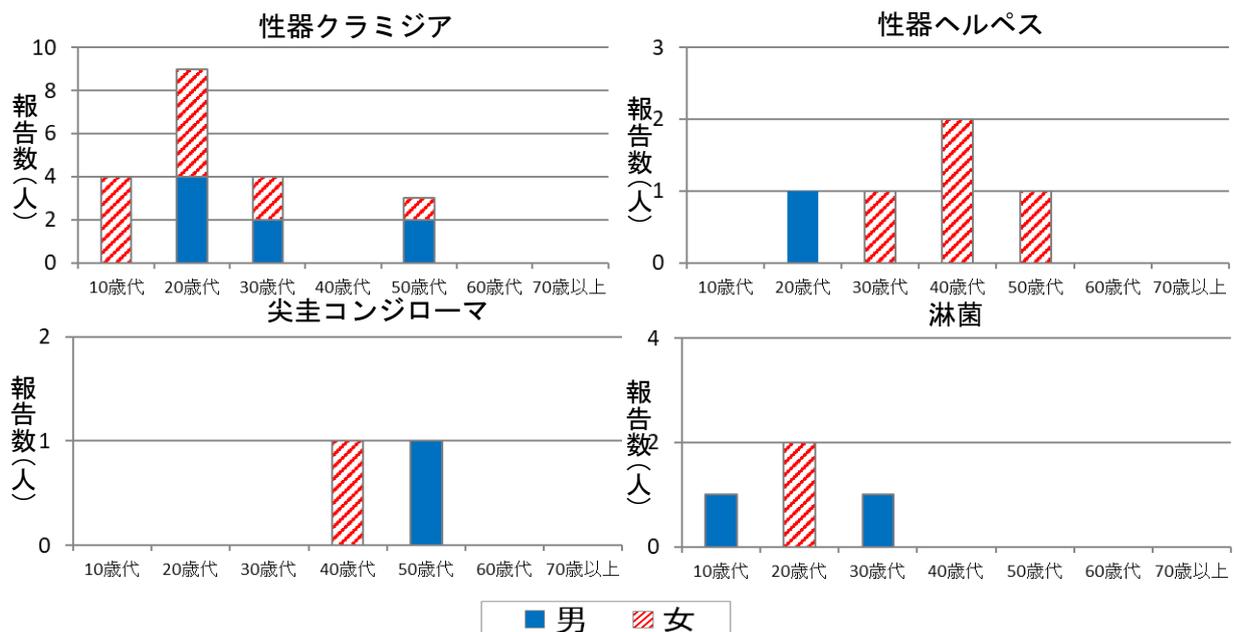
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は31人(2.4)で、前月比100%と横ばいであった。また、昨年3月(2.4)の100%である。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月及び昨年3月の約0.9倍である。
20歳代が全体の約半数を占めている。(男性8人・女性12人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、昨年3月の約1.3倍である。
(男性1人・女性4人)(前月報告なし)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月及び昨年3月の2.0倍である。(男性1人・女性1人)
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の0.5倍、昨年3月と同率である。(男性2人・女性2人)



【全国】 定点医療機関総数：981

定点医療機関からの報告総数は4,164人(4.3)で、前月比109%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,229人(2.3)で前月比111%、性器ヘルペスウイルス感染症782人(0.80)で前月比104%、尖圭コンジローマ497人(0.51)で前月比116%、淋菌感染症656人(0.67)で前月比106%である。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は11人(1.6)で、前月比110%と増加した。また、昨年3月(2.6)の61%である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数11人(1.6)で、前月の1.1倍、昨年3月の約0.6倍である。70歳以上が全体の約7割を占めている。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：477

定点医療機関からの報告総数は1,419人(3.0)で、前月比101%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,292人(2.7)で前月比103%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症120人(0.25)で前月比83%、薬剤耐性緑膿菌感染症7人(0.01)で前月比50%である。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2019年 第15週(04月08日～04月14日)

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	118	107	20	14	48	7		9	6	1	2
	定点あたり	2.03	1.84	1.25	1.40	6.86	1.40	0.00	1.50	3.00	0.17	1.00
RSウイルス 感染症	報告数	17	21	15	2				1		3	
	定点あたり	0.49	0.60	1.50	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	15	13	3	1	2	6				1	
	定点あたり	0.43	0.37	0.30	0.17	0.50	2.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	115	140	82	16	12	3	1	18		6	2
	定点あたり	3.29	4.00	8.20	2.67	3.00	1.00	0.50	4.50	0.00	1.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	236	259	57	43	12	73	17	23	4	28	2
	定点あたり	6.74	7.40	5.70	7.17	3.00	24.33	8.50	5.75	4.00	7.00	2.00
水痘	報告数	23	17	8	1	1	2		1		2	2
	定点あたり	0.66	0.49	0.80	0.17	0.25	0.67	0.00	0.25	0.00	0.50	2.00
手足口病	報告数	64	126	13	62	26	11	9	1		1	3
	定点あたり	1.83	3.60	1.30	10.33	6.50	3.67	4.50	0.25	0.00	0.25	3.00
伝染性紅斑	報告数	16	10	6		3	1					
	定点あたり	0.46	0.29	0.60	0.00	0.75	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	22	20	4	1	5	3	1	2		2	2
	定点あたり	0.63	0.57	0.40	0.17	1.25	1.00	0.50	0.50	0.00	0.50	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	20	25	1	12	12						
	定点あたり	0.57	0.71	0.10	2.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	7	2	3						1	1
	定点あたり	0.11	0.20	0.20	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	19	17	1	1						
	定点あたり	1.50	3.17	5.67	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1	3	3								
	定点あたり	0.14	0.43	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～15週)

2類感染症	結核	49例(5)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例	チクングニア熱
	つつが虫病	3例	レジオネラ症	2例	
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例	侵襲性肺炎球菌感染症
	梅毒	4例	破傷風	1例	百日咳

()内は今週届出分、再掲